



# 神田外語大学報

KUIS CAMPUS INFORMATION

第54号

2019年12月25日(水) 神田外語大学広報部発行 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL.(043)273-2826 Fax.(043)273-2988 URL https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/ E-mail prdept@kanda.kuis.ac.jp

## 2021年4月グローバル・リベラルアーツ学部(設置構想中)が始動。 新しい時代の、新しい学部を。[2021年4月開設予定]

言葉は世界をつなぐ平和の礎。1987年の開学以来、本学はこの建学の理念のもと、言葉と文化のスペシャリストを育ててきた。私たちが住む地球上には宗教対立や移民問題、通商摩擦などさまざまな課題が山積みになっている。またインターネットの普及、急速なグローバル化やAIの台頭と少し前には考えられなかったような大きな変化が生じている。新しい時代に必要な、新しい学問とはなにか。私たちは世界の課題に挑戦する強い意志と幅広い教養をもち、世界の平和と繁栄に貢献できる人材を育成するために2021年4月グローバル・リベラルアーツ学部(設置構想中)の開設を予定している。

今回は4年間のカリキュラムのなかでも特長的である、グローバル・チャレンジ・タームとその一環の海外スタディ・ツアー、及び3年次後期に必修となっているニューヨーク州立大学(SUNY : The State University of New York)での約4ヵ月間の留学に関する最新の情報をお届けする。

※設置計画は予定であり、内容に変更がある可能性があります。

### 1年次グローバル・チャレンジ・タームと海外スタディ・ツアー、 3年次ニューヨーク州立大学(SUNY)への専門留学

#### 海外スタディ・ツアー候補地を訪問

グローバル・リベラルアーツ学部では1年次前期に海外スタディ・ツアーがあり、全員が約3週間の留学を経験する。今回は在学生とともに、その候補地であるリトアニアとインドを訪問した。

リトアニアはバルト海東岸に南北に並ぶバルト三国の中でもっとも南の国で、北はラトビア、東はベラルーシ、南はポーランド、南西はロシアの飛び地カリーニングラード州と国境を接している。

カウナス領事館に赴任していた杉原千畝さんがナチス・ドイツの迫害によりポーランドなど欧州各地から逃れてきたユダヤ人を中心とした難民に大量のビザを発給し、避難



民を救ったことで知られているなど、日本人にとっては馴染みの深い国である。

現地ではカウナスにある国立総合大学

ヴィータウタス・マグナス大学に通い、リトアニアの独立の歴史や経済政策、日本との関係性などを学ぶ。また杉原記念館

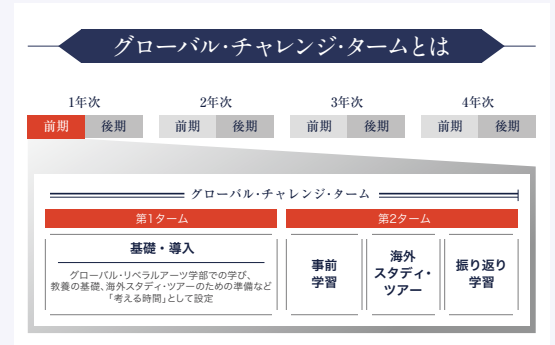


や第2次世界大戦中にナチス・ドイツがユダヤ人を収容し、大量虐殺を行った第九要塞や旧市街などを回り、フィールドワークを通して過去の歴史と平和な世界の実現に向けた取り組みなども学んでいく。

インドはパキスタン、中華人民共和国、ネパール、ブータン、ミャンマー、バングラデシュと国境を接し、海を挟んでスリランカやモルディブと、アンダマン諸島がインドネシアに近接しているなどさまざまな国に囲まれた大国である。

留学先のプネーは南インドの都市で、東のオックスフォードと呼ばれる学術都市。国立レベルの研究開発センターやインドで最も権威があるIT研究開発機関であるC-DAC (Centre for Development of Advanced Computing)の本部もあり、治安も非常に良く、活気にあふれている。

現地では午前中はシンパリオス国際大学に通い、インドの経済や、IT、貧困問題などを学ぶ。午後はフィールドワークとして学校に通えない子供たちに教育の場を提供する施設を訪れたり、インドカレー作りやアーユルヴェーダ、ヨガ体験をしたりとインドの文化を体験する。13億人が暮らす大国で宗教や思想、食文化や風習、IT研究など、インドの多様性や貧困からくる教育格差について学ぶ。



#### SUNY※の7校と国際協定を締結

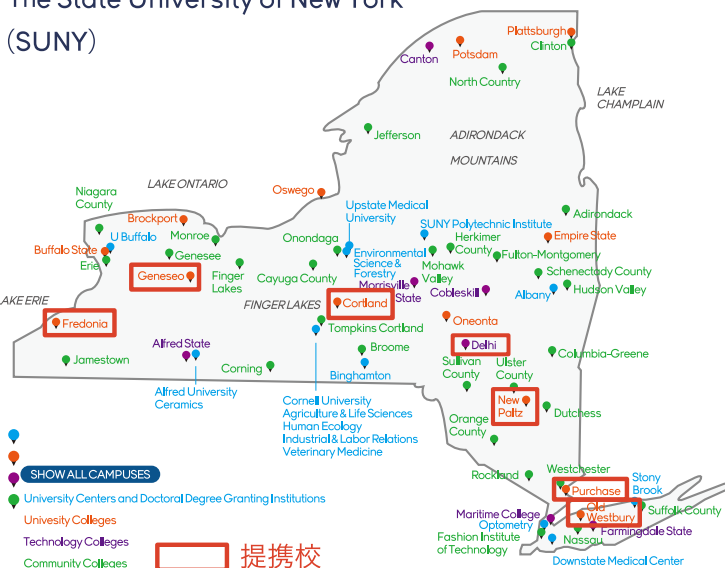
2021年4月設置構想中の新学部グローバル・リベラルアーツ学部では3年次後期にニューヨーク州立大学(SUNY)に全員が留学する。10月下旬に金口恭久副学長が留学先候補であるSUNY7校を訪問し、国際協定を締結した。

国際協定を結んだ7つの大学は、リベラルアーツを主体とした大学部で、人文・社会科学分野において幅広い科目が設定されている。グローバル・リベラルアーツ学部の学生は本学で学修した専攻分野に関する学びをさらに深めたり、幅を広げたりすることが可能となる。

どの大学も学生数が3,000~7,000名と本学と同規模で、教員と学生、学生間の距離が近く、留学生の受け入れや対応もきめ細かに行われている。また、どの大学も自然にあふれた落ち着いた環境の中に立地しており、治安も良く、勉学に最適な環境といえる。

さらにニューヨーク州の中心であるニューヨーク・シティは世界最高水準の美術・音楽・芸術等を鑑賞できる場所であり、各大学が提供しているマンハッタンへのエクスカージョンの機会を通して、優れた文化にふれることができる。またマンハッタンのSUNY Global Centerでのセミナーや国連のインターンシップに参加する機会も開かれている。

#### The State University of New York (SUNY)



#### 今回国際協定を結んだ7校

- SUNY Fredonia
- SUNY Cortland
- SUNY Delhi
- SUNY New Paltz
- SUNY Old Westbury
- Purchase College



※SUNY(The State University of New York)とはアメリカ合衆国ニューヨーク州に立地する州立大学機構の総称。ニューヨーク全域で研究重点大学からリベラルアーツ、教員養成系大学、コミュニティ・カレッジまで、機能や特色が異なる64校を有している。6,000を超える学科があり、40万を超える学生を有する全米有数の巨大な大学郡。

# 「第33回 浜風祭」開催!

10月26日(土)・27日(日)



10月26日(土)・27日(日)の2日間にわたり、「第33回浜風祭」(学園祭)が開催された。来場者の方にさまざまな「発見」をしてほしいという思いから、今回のテーマは「DISCOVERY」に決定された。

開催前日の準備日は大雨に見舞われたものの、開催日は2日間とも好天に恵まれ、1日目は2,405名、2日目は2,959名と合計で5,300名以上が来場した。本学で学べる各言語圏のあいさつを集めるスタンプラリーでは、多くの来場者が各店舗で楽しそうにスタンプを集める姿が見られた。また、東南アジアエリアではバインミー、イペロアメリカエリアではチュロス、アメリカエリアではハンバーガーなど、各エリアを代表するさまざまな料理が提供された。

ダンススクエアやミレニアムハウス等のステージでは、20を超える本学のパフォーマンス団体が世界各国の伝統舞踊や演奏、また普段学んでいる専攻語を用いた語劇を披露した。発表者はこの日のために数か月間準備に取り組み、当日は堂々とパフォーマンスを行った。来場者は

それぞれの発表を観覧し、目と耳で世界の文化を感じている様子であった。

写真映える異国情緒あふれるKUIS8(8号館)や7号館MULCでは、それぞれの館内に撮影スポットが設けられた。特にMULCでは民族衣装の貸し出しも行われたため、来場者は自身が選んだ民族衣装で身を包み、撮影を楽しんだ。

パフォーマンス以外にも、本学のゼミとボランティアセンターが合同で企画した国際大会応援イベントや、地球上の水問題を取りあげた研究発表、また世界平和のためのアクティビティなど、国際社会について知識を深めるブースも用意されていた。来場者はこれらのブースを見学することにより、世界で何が起きているのかを、まさにテーマの通り「発見」できた様子であった。

子ども向けの英語アクティビティが実施されたこともあり、子ども連れの近隣住民の方も多く来場し、地域社会に開かれた大学行事として大いに盛り上がった。



## 地球のたびびと

旅の途中で出会った思い出深い町、風景、人々……。今回は、アジア言語学科中国語専攻講師 及川茜、学長室職員 須賀大悟さんの旅のエピソードをお届けします。



### 「山中の孤村」

アジア言語学科 中国語専攻講師 及川茜

2018年10月にマレーシア・カンパルを訪ねた際、作家の賀淑芳さんの運転で映画『細い目(Sepet)』(ヤスミン・アフマド監督、2004)のロケ地、イポーのグヌラン公園を訪れた。水辺で奇巖巨石を望むことができる。公園内にブルメリアが咲いていたので、「あなたの小説のタイトルにある雞蛋花というのはあれですよ」と尋ねたところ、マレー人の墓地によく植えられていると教えて頂いた。こうしたイメージは土地の人でないと知り得ない部分がある。

また、夜にはラーマン大学の李樹枝先生が車を出して下さり、賀さんの案内でカンパル近郊の「新村」(New Village)に行くことができた。「新村」とは1948年から60年まで続いた非常事態の間、華人コミュニティから共産党勢力を切り離すため、華人を強制移住させたゲットーである。ろくに街灯もない山の中の一

本道を一体何キロ走ったか、「木板屋」と呼ばれる当時の住宅を多く残す村がひっそりとあった。村から外に通じる道はその一本のみで、夜間に出口を封じられればどこにも出られない。外界から孤絶した村の姿に、反共政策下のマラヤ華人の置かれた状況を改めて知らされる思いだった。



### 「日本人大好きなトルコの噂!」

学長室職員 須賀大悟

初めてトルコを訪れたのは大学卒業時の2002年。衝撃的だったのは、行く先々での「日本大好き」アピール。道を歩けば車から身を乗り出して手を振ってくるし、「君は日本人か?うちの娘と握手してくれ」「一緒に写真に写ってくれ」と言われる事も数多く。冗談抜きで日本人愛の表現が半端ない。

1890年に紀州沖で起きたオスマン帝国海軍「エルトゥールル号」遭難事故への住民による献身的な救助が両国友好の原点になったと言われるが、義捐金約1億円を集め自らトルコに渡った山田寅次郎はその時、年齢26歳という。なんと志の大きいことか。

その後、日露戦争での日本の勝利はトルコを熱狂させ、さまざまな場面で日本にならえと続いていく。イラン・イラク戦争時、216名の帰国困難な在留邦人を救助したトルコ航空機の出現では、我々がトルコの人たちに感謝をする番

になった。「困った時に助けてくれる」。アフガニスタンで銃弾に倒れた中村哲氏しかり、いつの時代も人を動かすのは、献身的活動なのだ。と再認識する旅となった。



## KUIS卒業生交流会支援制度のご案内

神田外語大学同窓会では、部活、サークルのOB・OG会やクラス会の開催を支援する制度を2010年3月からスタートしています。

代表者が同窓会費を納入済で5名以上の卒業生が参加する会であれば、参加者1名につき¥1,000を支援します(※ただし年度内に1回限り)。また教職員の方も支援対象となります(※退職された方も含む)。

詳しくは下記大学ホームページをご覧ください。ご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。卒業生の皆様のご利用をお待ちしております。

**KUIS卒業生交流会支援制度** <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/dosokai/shien/>

**支援制度に関するお問い合わせ**

神田外語大学同窓会事務局 〒261-0014千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1  
TEL 043-273-2519 Email almn@kanda.kuis.ac.jp  
受付時間 9:00~17:15 (土日・祝日、年末年始・入試期間・GW・お盆などの大学閉鎖期間を除く)

## 神田外語大学同窓会 2020年1月11日(土)

### ホームカミングデー開催決定!

2020年1月11日(土)に「第15回 神田外語大学ホームカミングデー」を開催します。当日は、本学で教鞭をとられた先生方もお招きする予定です。詳細は、神田外語大学同窓会Facebookで随時お知らせしていきます。ご友人にもぜひ情報を共有ください!



# 神田外語大学ボランティアセンター活動報告

2019年4月～現在までの国内外のボランティア参加者数はのべ400名である(2019年11月現在)。9月20日(金)～11月2日(土)に開催されたラグビーワールドカップ2019™、さらには2020年東京で開催される世界的なスポーツの祭典も控え、語学力を活かした言語サービス関連のボランティアのニーズはますます高まっている。今後、特に来年の夏に向けて、語学を使う活動機会はより一層増加していくことが予想される。ボランティアセンターは引き続き、より多くの学生が大学での学びを活かせるようサポートしていく。

## 2019年度ボランティア活動実績

ボランティア一覧	日程	人数
千葉市小中学校ボランティア	4月1日(月)～2020年3月19日(木)	3
日本エアロビック連盟Suzuki WC言語サービスボランティア	4月13日(土)・14日(日)	3
こどもラグビーワールドフェスティバル2019言語サービスボランティア	4月20日(土)・21日(日)	2
第24回海外高校生による日本語スピーチコンテスト企画運営ボランティア	4月27日(土)～8月24日(土)	5
柏市内小学校でのラグビークリニック言語サービスボランティア(All Blacks)	5月16日(木)～5月27日(月)	3
スパルタンレース運営ボランティア	5月18日(土)	10
幕張チャリ運営ボランティア	5月19日(日)	20
幕張新都心クリーンの日清掃活動(春)	5月22日(水)	1
流山おおたかの森高校外国人生徒サポートボランティア(前期)	6月17日(月)～7月10日(水)	2
2019年度千葉日本大学第一中学校 英語学習サポーター(前期)	6月～8月	1
八千代市こども支援ボランティア	6月～2020年3月31日(火)	2
千葉市立打瀬小学校留学生文化交流ボランティア	6月26日(水)	7
世界水泳2019オランダ選手団事前キャンプ言語サービスボランティア	7月1日(月)～7月6日(土)	2
千葉県ユニセフ協会設立15周年記念 ユニセフのついで2019運営補助ボランティア	7月7日(日)	7
ブラジルフェスティバル2019運営補助ボランティア	7月20日(土)・21日(日)	41
日中ビジネスマッチングイベント言語サービスボランティア	7月21日(日)・22日(月)	4
IIBC 第2回東京国際合唱コンクール2019言語サービス&運営補助ボランティア	7月24日(水)～28日(日)	4
JR東日本言語サービスボランティア/テンポラリストタッフ(東京駅)	8月～	4
JR東日本言語サービスボランティア/テンポラリストタッフ(浜松町駅)	8月～	1
JR東日本言語サービスボランティア/テンポラリストタッフ(成田空港駅)	8月～	3
幕張ビーチ花火フェスタ2019「事前ビーチクリーン」ボランティア	8月1日(木)	10
東日本大震災復興教育ボランティア(宮城県亘理町)	8月5日(月)～8日(木)	27
第24回幕張本郷ふれあい祭り運営補助ボランティア	8月6日(火)	4
京都市大覚寺日本文化体験&言語サービスボランティア	8月21日(水)～23日(金)	12
ホストタウンボランティア:オリンピック委員会各国団長と自治体との交流会	8月22日(木)	3
「えいごであそぼ」英語講師ボランティア	8月22日(木)～24日(土)	5
ホストタウンボランティア:よさこいイベントでの各国参加者アテンド言語サービスボランティア	8月24日(土)	1

ボランティア一覧	日程	人数
第7回アフリカ開発会議(TICAD7)運営補助ボランティア	8月24日(土)～8月30日(金)	10
ホストタウンボランティア:チュニジア人音楽家の小学校訪問における言語サービスボランティア	8月30日(金)～9月2日(月)	2
Chiba 2019 World Taekwondo Grand-Prix運営補助ボランティア	9月13日(金)～15日(日)	8
第22回千葉市海浜アクアスロン大会運営補助ボランティア	9月7日(土)～8日(日)	10
レッドブル・エアレース千葉2019運営補助ボランティア	9月7日(土)～8日(日)	10
ラグビーワールドカップ 2019™ Master Card VIP サポートスタッフ(吉香社)	9月14日(土)～11月4日(月)	4
幕張南小学校ニューゼaland交流会言語サービスボランティア	9月18日(水)	5
ラグビーワールドカップ2019™フラッシュ・クオートレポーター言語サービスボランティア(Gracenote社)	9月20日(金)～11月2日(土)	2
フィエスタ・メヒカーナ2019運営補助ボランティア	9月21日(土)～23日(月)	54
グローバルフェスタJAPAN2019運営補助ボランティア	9月27日(金)～29日(日)	17
第89回FICCオートキャンプ世界大会言語サービスボランティア	9月27日(金)～10月6日(日)	9
2019年度千葉日本大学第一中学校 英語学習サポーター(後期)	10月～2020年2月21日(金)	5
流山おおたかの森高校外国人生徒サポートボランティア(後期)	10月～	2
JR東日本言語サービスボランティア/ラグビーワールドカップ2019™(熊谷駅)	10月9日(水)	2
即位礼正殿の儀 接遇支援業務	10月17日(木)～10月25日(金)	7
幕張ベイタウンハロウィンパーティー2019運営補助ボランティア	10月20日(日)	9
ZOZO CHAMPIONSHIP(ゴルフPGA TOUR)トーナメント言語サービスボランティア	10月21日(月)～27日(日)	5
「英語で楽しむ親子おはなし会」読み聞かせボランティア	10月26日(土)・11月16日(土)	4
FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019言語サービスボランティア	11月1日(金)～11月3日(日)	9
第12回全世界空手道選手権大会言語サービスボランティア	11月9日(土)・10日(日)	3
2019 NOMURA WOMEN'S WORLD SUPER 6(女子シッティングバレーボール国際大会)	11月9日(土)～18日(月)	6
イオン環境財団植樹ボランティア	11月16日(土)	4
幕張南小学校「学びフェスタ」講師ボランティア	11月16日(土)	11
JR東日本言語サービスボランティア/テンポラリストタッフ(成田空港第2ビル駅)	11月～	4
JR東日本「学びの場」2019年度後期	11月11日(月)・12日(火)・27日(水)・28日(木)	5
高円宮杯JAL Presents フェンシングワールドカップ2019兼2020オリンピックテストイベント	12月13日(金)～15日(日)	6

## 「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」で在学生在がボランティアとして活躍

「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」開催前日の9月19日(木)～11月2日(土)の期間、本学の学生22名が埼玉県、東京都、神奈川県、北海道などの各会場や街なかでVIP対応、メディア対応、観戦客の誘導など、ボランティアとして活躍した。

そのなかで、10月9日(水)に熊谷市で行われた「アルゼンチン 対 アメリカ戦」で、ラグビーワールドカップ2019™日本大会公式ボランティアチーム「TEAM NO-SIDE」の一員として参加した酒田海さん(アジア言語学科インドネシア語専攻3年)の活動を取材した。酒田さんはラグビー会場へ向かう来場者への案内や、ステッカーを渡すなどのおもてなし、バスの見送りなどを担当した。駅からラグビー会場へ向かうまでの道中では、来場者に声をかけたり、ハイタッチやフラッグを振ったりして、少しでも楽しんでいただけたよう熱心に努めていた。

### (酒田さんの感想)

全国外大連合主催のボランティアセミナーを受講し、今回初めて全国外大連合枠で国際大会に参加した。元々セミナーを受講したときから、ラグビーワールドカップ2019™日本大会と東京で開催される世界的なスポーツの祭典のボランティアに参加することが目標だったので、その一つを達成することができた。熊谷会場は多くの来場者がバスを利用していたが、歩いて会場に向かう方々に少しでも楽しんでもらえるよう、積極的に声をかけた。その結果、「私たちが歩いていても退屈せずに楽しめているのは、ボランティアの方々のおかげだよ。」と来場者の方に言ってもらえたことができたのは本当に嬉しかった。「ジョージア 対 ウルグアイ戦」では、海外の方と帰りの電車で友だちになり、国際交流ができた大会でもあった。スポーツが好きであるため、その裏側に関わることができ、良い経験となった。今後ともさまざまな国際大会でボランティアに参加したい。



## 「第7回アフリカ開発会議(TICAD7)」に10名の在学生在が運営補助ボランティアとして参加

8月28日(水)～30日(金)の3日間、「第7回アフリカ開発会議(TICAD7)」がパシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)にて開催され、在学生10名と卒業生1名が運営補助ボランティアとして参加した。学生たちは、TICAD7会議運営の補助的業務やサイドイベントの支援業務などを担当。誘導・パンフレット配りから、議場の管理、大臣や総理主催のレセプション、2カ国間会談の補助、デレゲーションランチ、晚餐会等のアフリカ各国要人の誘導・案内まで幅広い業務を経験することができた。

外務省在外公館派遣員の経験をもつ学生は、派遣員の経験で学んだことを活かし今回のボランティアに臨んだ。モザンビークでの在外公館派遣員時代とともに勤務していた館員の方々とも再会することができ、モザンビークで築かれた繋がりのありがたさを再認識した。また、派遣員時代と異なる業務に携わったことは新鮮で、再び非常に貴重な経験ができた、と語った。学生たちには今回の経験で学んだことを活かし、今後も日本とアフリカとの関係のさらなる強化の一翼を担ってくれることを願う。

## 「第89回FICCオートキャンプ世界大会」に学生9名がボランティアで参加

9月27日(金)～10月6日(日)の10日間、第89回FICCオートキャンプ世界大会実行委員会主催の「第89回FICCオートキャンプ世界大会」が福島県天栄村 羽鳥湖高原にて開催され、9名の在学生在が言語サービス及び運営ボランティアとして参加した。この大会には、アジア、ヨーロッパよりキャンパーが多く来日し、キャンプを通じた活発な国際交流が行われた。学生たちは、来日した参加者のバスツアーに同行し、言語サポート、運営面では会場設営の補助、開会式の進行などを行った。各国の代表の前での言語サービスは

とても緊張したが、さらに言語運用能力を上げたい、語学の勉強の励みになるなど、今後の語学学習意欲の向上にもつながったようだ。参加していた世界各国のキャンパーは開催地福島県の自然や文化にふれ、福島県の魅力を存分に満喫していた様子であった。学生からは参加者への手助けができてよかった、来日された多くの方とふれ合うことで交流を深めることができ、充実した活動をすることができた、などの声が寄せられた。

## ◆◆◆ 大学院からのお知らせ ◆◆◆

本学大学院言語科学研究科は、東京キャンパスに英語学専攻MA TESOLプログラム(修士課程)を置き、千葉幕張キャンパスに日本語学専攻 日本語学コース/日本語教育学コース(修士課程)と言語科学専攻(博士課程)を置いています。それぞれのキャンパスで、大学院説明会、講演会、入学試験を実施しています。2016年、MA TESOLプログラムは、文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されました。

### 英語学専攻 [東京]

出願期間 2019年12月2日(月)～1月15日(水) 試験日 2020年1月26日(日)

### 日本語学専攻 [千葉]

Ⅱ期 出願期間 2019年12月12日(木)～1月9日(木) 試験日 2020年1月25日(土)

Ⅲ期 出願期間 2020年2月10日(月)～2月20日(木) 試験日 2020年2月27日(木)

■大学院言語科学研究科 <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/grad/>  
 ■お問い合わせ 神田外語大学 言語科学研究科 Email: info@grad@ml.kuis.ac.jp  
 英語学専攻 TEL:03-3254-3586(月・木～日 11:00～18:00)  
 日本語学専攻TEL:043-273-1320(月～金 11:00～18:00)

## 「神田外語進学アドバイザー」新規スタッフを募集

神田外語大学・学院では全国高校向けの広報活動をより充実させるべく、お住まいの地域周辺の高校を訪問し、先生や生徒に大学・学院の紹介を行う「神田外語進学アドバイザー」を募集しています。1994年にスタートした制度で、現在、北海道、福島、栃木、群馬、埼玉、茨城、千葉、東京、神奈川、長野、静岡、新潟、富山、福岡地域にて、計46名のスタッフが活動しています。今回、以下の地域の方を特に募集いたします。

山梨県、栃木県宇都宮市以北、新潟県、群馬県、東京都(世田谷区、杉並区、中野区)

- 神田外語大学または神田外語学院をご卒業後、3年以上の職務経験がある60歳未満の方。
- 平日の昼間に高等学校への訪問、ガイダンス参加が可能であること。
- 進学アドバイザーとして指定の研修(年6～7回)に参加可能であること。
- 基本的なPC操作(インターネット、メール、Word、Excel)ができること。
- 日常会話程度の英語力があること。
- 自宅PCやスマートフォンにてPDFファイルを確認し閲覧できること。

ご興味がある方は必要事項(氏名(フリガナ)、既婚の方は旧姓、卒業年及び学科・専攻、現住所、電話番号)を記入し、下記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

**応募締切: 2020年1月6日(月)**

お問い合わせ先 神田外語大学 広報部 進学アドバイザー募集係 担当:寺田(てらだ)、原(はら)  
 〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-4-1 TEL:043-273-2826 / FAX:043-273-2988  
 E-mail:teradam@kanda.kuis.ac.jp, hara-t@kanda.kuis.ac.jp  
 ※ご記入いただく個人情報は、神田外語進学アドバイザー担当、及び神田外語グループからさまざまなご連絡をする目的にのみ使用いたします。

# Kuis News File

## 「グローバルサマーセミナー2019」 「英語教育公開講座2019」開催

全国外大連合(関西外国語大学、神田外語大学、京都外国語大学、神戸市外国語大学、東京外国語大学、長崎外国語大学、名古屋外国語大学)主催の「グローバルサマーセミナー2019」が8月、東京、静岡、大宮の3都市で開催された。セミナーでは、外国語が好きな高校生を対象に、語学のスキルアップや異文化交流のヒントなどコミュニケーションスキルを磨く講座が開講された。

参加者は、外国人講師による英語レッスンをはじめ、日常で使える実践的な英語を学ぶ「英語」コース、国際関係やスポーツの祭典について知る「教養・スポーツ」コース、外大の魅力でもある英語以外の語学にふれ各国の文化を学ぶ「多言語」コースの3つから選択し受講した。また、英語力に自信がある高校生を対象に、「英語上級者」コース(英検準1級レベル目安)も設置されており、通訳の基礎やマーケティング、ディベート、国際関係論などの講座も開講された。参加した高校生からは「非常に充実していた」との声が多く寄せられた。

また、7月から8月の4日間には東京、静岡、大宮の3会場で、全国の英語教員を対象にした「英語教育公開講座2019」が開講され、4日間合計で520名が参加した。今年は「令和時代の新しい授業形態」をテーマに、小・中・高におけるアクティブラーニングやCLIL(Content and Language Integrated Learning)、英語4技能入試対策やICTの活用など、次世代英語教育に関する内容を中心に開講された。特に、今回は2020年度から始まる小学校3年生からの英語授業に対応するため、「小学校英語授業に関する講座」を増設した。基調講演では、西武学園文理高等学校の土屋進一先生より「主体的・対話的で深い学び」を促す授業とは」をテーマにご講演いただいた。

両イベントともに多くの参加者が集まり、盛況のうちに終了となった。



## 「第8回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」を開催

11月30日(土)、「第8回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」(主催:神田外語グループ、読売新聞社)が開催された。今年で8回目を迎える本大会には全国の大学、大学院、短大、専門学校等209校から793名の応募があり、過去最大規模の大会となった。当日は2次予選に挑むために296名が姉妹校・神田外語学院(東京・神田)に集まり、英語によるプレゼンテーションを披露した。



第8回大会のテーマは、1.「外国人の若者を日本へ!ワーホリ計画を提案」、2.「世界を救え!食品ロスの削減を提案」、3.「ジェンダー問題を考えるワークショップを提案!」の3つで、制限時間10分の中でそれぞれユニークなアイデアを審査員にアピールした。そして2次予選を突破した5名(個人の部)、5組13名(グループの部)、合計18名が、同日の午後よみうり大手町ホール(東京・大手町)にて行われた決勝へと進んだ。決勝会場では、2次予選でライバルだった参加者や来賓の方々など大勢が見守るなか、決勝進出者による堂々とした力強いプレゼンテーションが繰り広げられた。

審査は、「内容」「構成」「口頭発表力」「説得力」「質疑応答」の各スコアで総合的に判断され、今年度の受賞者が選出された。見事、最優秀賞の文部科学大臣賞に輝いたのは、東北大学大学院のバネルジュー トリシットさんだった。テーマ1を取り上げ、「Fukushima From You」と題したワーキングホリデープログラムを提案し、栄冠を手にした。最優秀賞として、文部科学大臣賞状の他、副賞として奨学金100万円、ANA国際線(米国際線)往復航空券、AOKI商品券5万円分、ジャパン・ニューズ講読(半年分)などが贈られた。また、姉妹校・神田外語学院グローバルコミュニケーション科1年の大河内歩美さん、湊優里菜さんのグループが見事インプレッシブ賞を受賞した。

**後援:** 文部科学省/外務省/米国大使館/一般社団法人国立大学協会/一般社団法人公立大学協会/日本私立大学団体連合会/公益社団法人東京都専修学校各種学校協会/一般社団法人全国外国語教育振興協会/一般社団法人 日本ワーキング・ホリデー協会/国際連合食糧農業機関駐日連絡事務所/特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会

**協賛:** JR東日本/イオン株式会社/株式会社関電工/株式会社共立メンテナンス/株式会社フジタ/株式会社みずほ銀行

**特別協力:** ANA/株式会社AOKI/公益財団法人イオン環境財団

**協力:** 観音温泉/株式会社三京エンタープライズ/テクノブロード株式会社

## 「第3回高校生東南アジア小論文コンテスト」

10月26日(土)、「第3回高校生東南アジア小論文コンテスト」の表彰式が本学で行われた。このコンテストは急成長を続けるアジア、特に東南アジアについて、高校生に理解を深めてもらうことを目的としている。第3回となる今回は、インドネシア、ベトナム、タイの3部門を合わせ2,024作品の応募があった。

表彰式ではコンテストの審査委員長を務める宮内孝久学長から入賞者へ表彰状が授与され、力作を寄せてくれた高校生たちへ賞賛の言葉が講評とともに贈られた。最優秀賞に選ばれたのは、ベトナム部門の渡久山勝希さん(北海道清水高等学校3年)の作品。そして優秀賞には、インドネシア部門の内田結子さん(北海道札幌南高等学校2年)、タイ部門の大杉明日香さん(静岡県西遠女子学園高等学校3年)から寄せられた作品が選ばれた。今後も、グローバル化が進む社会で、次世代を担う高校生にとって、発展著しい東南アジアへの興味や関心を抱ききっかけとなるようなコンテストをめざしていく。



## 「7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座」が開催

11月30日(土)、12月1日(日)の2日間、本学をはじめとする慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、立教大学、早稲田大学の7大学が主催する、2019年度「7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座」が開催され、学生100名(神田外語大学27名、慶應義塾大学3名、上智大学13名、筑波大学5名、東京大学4名、立教大学20名、早稲田大学28名)が参加した。

このスポーツ・リベラルアーツ講座は、2017年11月本学と筑波大学、早稲田大学の3大学主催による開催から始まり、2018年10月に7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座実行委員会を発足、同年11月に7大学が連携する第1回目の「7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座」を開催した。

「7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座」は、スポーツを軸に社会・人文・自然科学分野の幅広い教養を高める機会の創出を目的に開催している。

2019年度の講座は1日目を東京大学駒場地区キャンパス、2日目を筑波大学附属中学・高等学校で開催。スポーツやその関連分野に興味のある学生を対象に、「グローバル社会におけるスポーツの多様性」「東京2020大会の意義や21世紀のスポーツ」という2つのテーマで開講した。2018年度の開催に引き続き、7大学の特色を活かしたコンテンツにより、グローバル社会で活躍できる教養人の育成はもちろん、グループワークによるアクティビティを通して、他大学の学生同士の交流が深まった。



## 第90回外務省在外公館派遣員試験に合格

※学年は合格当時のもの

第90回外務省在外公館派遣員試験に在学学生4名、卒業生4名、姉妹校・神田外語学院卒業生1名が合格した。今回合格した9名をはじめ、これまでの本学と神田外語学院の在学・卒業生の合格者は計150名となり、現在も43名が世界のさまざまな国で活躍している。(2019年12月現在)  
今回合格した9名は以下の通り。

**中山 あか莉**(英米語学科4年)  
【派遣先】在エチオピア日本国大使館

**宇田川 直道**(ブラジル・ポルトガル語専攻4年)  
【派遣先】在アンゴラ日本国大使館

**小池 実可子**(英米語学科2017年卒)  
【派遣先】在セーシェル日本国大使館

**関 胡桃**(英米語学科3年)  
【派遣先】在ヨルダン日本国大使館

**遠藤 彩加**(中国語専攻2019年卒)  
【派遣先】在上海日本国総領事館

**伊藤 亜耶子**(国際コミュニケーション専攻2014年卒)  
【派遣先】在バングラデシュ日本国大使館

**アシラフイ キャメーシ**(英米語学科3年)  
【派遣先】在タジキスタン日本国大使館

**岡林 瑞穂**(英米語学科2018年卒)  
【派遣先】在アメリカ合衆国日本国大使館

**神田外語学院 卒業生**(神田外語学院国際ホテル科2013年卒)  
【派遣先】在ハンガリー日本国大使館



外務省在外公館派遣員試験の対策を含む勉強会「∞」グローバル教養講座はグローバル・コミュニケーション研究所が主催しています。在学・卒業生の皆さんも希望する方は、いつからでも勉強会に参加可能ですので右記までお問い合わせください。

神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所 久保谷 富美男  
TEL:043-273-2324 E-mail:kubotani@kanda.kuis.ac.jp



## アジア各国で同窓会を開催

神田外語大学同窓会が主催する海外での同窓会「KUIS FRIENDSHIP PARTY 2019」が、今年も開催された。8月10日(土)にインドネシア、8月17日(土)に台湾、8月23日(金)にベトナムのハノイ及びホーチミンの2都市、8月24日(土)にタイ、そして8月31日(土)にマレーシアの5カ国・6地域で実施された。

現地で働く卒業生のほか、留学中の学生や本学の教職員、国際協定校の元留学生などが会場に集まり、親睦を深めた。また、現地でインターンシップに参加している学生も参加し、海外で働く卒業生たちの話に熱心に耳を傾けていた。会の最後には、KUISグッズが当たる抽選会なども開催され、会場は大いに盛り上がった。

各国の参加者数は、インドネシア47名、台湾19名、ベトナム37名(ハノイ19名、ホーチミン18名)、タイ59名、マレーシア13名の計175名と、今年も大変盛況であった。

海外各国における本学卒業生のネットワークは年々広がりを見せており、学生にとっても縦の繋がりが作れる非常に貴重な場となっている。



## 駐日外交団が本学を訪問

7月10日(水)、35名の駐日外交団が本学を視察に訪れた。千葉市内の文化や産業など、地方の魅力発信の一助となることを目的として、外務省、千葉市、ちば国際コンベンションビューローが共催して実施しており、千葉市内の産業、教育、文化関連施設等を視察するなか、本学が視察先として選ばれた。駐日外交団の訪問は5年ぶり、2回目の視察となった。



オープニング・セレモニーは7号館クリスタルホールで行われ、本学の学生が英語で司会や大学の概要説明を行った。その後、23名の学生が「70分外交官」となり、英語、スペイン語、インドネシア語などの専攻語で学内を案内した。7号館MULCや8号館SALC、アジア食堂「食神」などの施設では、駐日外交団と積極的にコミュニケーションを取る学生の姿が見られた。また駐日外交団も案内中、学生との会話を楽しんでいる様子で、最後の見送りの際は「また会おう」と握手を交わし、本学を後にした。

駐日外交団は本学の学生や施設について「神田外語大学の学生は積極的に話す」「案内する学生が明るく愉快」「英語が上手」「日本には珍しい開放感がある」という印象をもったと語った。

## 鶴岡公幸教授ゼミの学生が千葉県洋菓子協会と連携して 千葉市ゆかりの新商品を共同開発

鶴岡ゼミではマーケティングを実践的な場で学ぶことを目的として、毎年企業とのコラボレーション企画を行っている。今回は、千葉県洋菓子協会に加盟する市内4店舗において、千葉市産のニンジンを活用し、それぞれの店舗で異なる焼き菓子を共同で開発した。商品開発に当たって、材料の一部にニンジンを使用することを統一ルールとし、各店舗が自由に製作することで、その店の特色を打ち出せるものとなっている。各店舗の商品の試作品ができた段階で試食会を実施し、子どもたちの野菜に対する苦手意識を克服させる商品作りを目標に、本ゼミ生の意見を取り入れ、製作された。



これに加え、商品を販売する際には鶴岡ゼミが企画して作成したキャラクター「キャロちゃん」のシールを貼り、神田外語大学とのコラボ商品であることをPR。この取り組みは千葉市商学連携型商品開発事業補助金の対象となっており、産学間連携として注目を集めた。10月24日(木)には鶴岡ゼミの学生である国際コミュニケーション学科 安居純さん(4年生)、山口まいさん(3年生)、高木華乃さん(3年生)が、千葉県洋菓子協会の方々と記者会見に出席した。

このコラボ商品は10月26日(土)、27日(日)開催の本学の学園祭「浜風祭」でも特別販売され、大盛況で完売となった。今後は協力いただいた「お菓子工房vanille(バニエユ)」「FRIEND(フリアン)」「SWEETS MIZUNOYA(スイーツミズノヤ)」「Patisserie 晴れの日」の4店舗で販売を行う。

## イオン株式会社と「大規模災害への備えに関する連携協力協定」を締結

7月16日(火)、本学はイオン株式会社と「大規模災害への備えに関する連携協力協定」を締結した。これは大規模災害等が発生した、または発生する恐れがある場合に、災害応急対策および災害復旧対策が円滑に実施されることを目的としている。本締結式は本学の8号館2階にて宮内孝久学長とイオン株式会社執行役人事・管理担当兼リスクマネジメント管掌の渡邊廣之氏によって行われ、協定書が取り交わされた。

本協定により、本学の学生と教職員は、イオンが実施する訪日外国人向けの防災訓練等の減災・防災活動に協力し、イオンは、大規模災害発生等の緊急時、本学の要請に応じて、速やかに食料や日用品等の救援物資を供給する。本学とイオンは、ともに「募張新都心」を拠点としており、2013年6月にパートナーシップを締結して以降、イオン環境財団が主催する植樹活動への参加や、電子マネーWAON付き学生証発行などさまざまな取り組みを行っている。今後は本協定の締結による災害応急・復旧対策だけでなく、防災への啓発活動を実施するなど、防災に対する意識醸成についても相互協力し、地域社会へのさらなる貢献をめざす。



## 本学を会場に「第2回ジャパンSDGsサミット」が開催

8月1日(木)、2(金)の2日間、本学にて「第2回ジャパンSDGsサミット」が開催された。SDGs(Sustainable Development Goals)への取り組みをリードする金沢工業大学が主催するイベントで、SDGs教育の最前線の取り組みや情報を共有するとともに、参加者一人ひとりが立ち上がり、行動に移すきっかけとすることを目的としている。SDGsへの取り組みについては本学でも学内講演会の実施やSDGsをテーマとした授業や課外活動が行われており、このサミットでは本学の学生や教職員も運営に携わった。

初日は、日本政府がSDGs達成に資する優れた取り組みを行う企業・団体を表彰する「ジャパンSDGsアワード」の受賞団体による最前線の取り組みの発表や、金沢工業大学の学生プロジェクトと株式会社リバースプロジェクトが共同開発した、楽しみながらSDGsを学べるカードゲーム『THE SDGs Action cardgame X(クロス)』の体験ブースなどが設置された。このカードゲームにおいて本学の学生がアイデアを提供し、「食神」や「募チャリ」など、本学の特徴的なリソースを加えたKUISオリジナルカードも展示された。

2日目は、次世代を担う小・中・高・大学生を主役としたユースサミットが開催され、ショートムービーコンテスト受賞作品の上映や、代表グループがSDGsの取り組みの発表を行った。午後はカードゲームを使った小学生向けのワークショップや、将来のキャリアを考える「人生ゲーム」のほか、「ジェンダー平等・不平等」などの身近な問題や地球環境の問題を参加者全員で考え、解決策を共有するグループワークが行われた。

フィナーレでは、SDGs推進団体が中核となり、未来を担う若い世代の視点からSDGs達成目標の2030年に在りたい未来像を描き、参加者全員でその実現に向けた第一歩となるアクション宣言を行い閉幕した。



## 千葉工業大学と留学生交流会を実施

9月21日(土)、留学生を含む16名の本学学生が千葉工業大学の東京スカイツリータウンキャンパスを訪問し、同大学の留学生14名と交流会を行った。

まず、千葉工業大学の取り組みについての3Dビデオが上映された。宇宙に関する研究を3Dで体感することができ、本学の学生は非常に関心を寄せていた。その後、千葉工業大学の留学生による案内で見学ツアーが行われ、福島第一原子力発電所に投入された同大学のレスキューロボットや、はやぶさ2の実物大模型など、最先端技術が詰まった展示物を見学した。見学の後は小グループに分かれ、それぞれどのようなことを学んでいるのか、卒業後は何をしたいのかなど活発に意見交換を行い、異なる専門分野を学ぶ学生同士の交流は互いに大きな刺激となった。



## 東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う2020年度前期学年暦の変更のお知らせ

本学では、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年度の学年暦を一部変更し、競技等開催期間が授業日と重複しないよう、前期のスケジュールを変更します。

東京オリンピックが開催する2020年7月24日(金)以降の日程は、従来の学年暦を適用した場合、前期授業日、およびテスト・補講期間に該当します。

本学では、多数の学生が大会組織委員会・大会ボランティアならびに各自自治体・都市ボランティアに登録をしており、各方面での活

躍が期待されます。自国で開催される世界最大のスポーツと平和の祭典に関与することは学生にとって教育的価値が無限に広がり、多様な形で大会に参加できるよう支援いたします。また、大会開催期間中は首都圏を中心に交通機関の混雑が予想され、本学近隣施設でも複数競技が実施されることから同様の混雑がもたらされるものと思われま

上記の理由により、東京オリンピックが開催される2020年度前期について、特例として全体の授業スケジュールを繰り上げ、学年

暦を調整することとしました。以下の主な変更点、ならびに授業等における教育的配慮についてご確認の上、学年暦の変更について予めご承知くださいますようお願いいたします。

### 2020年度前期学年暦 主な変更点

1. 全体の授業スケジュールを繰り上げる。
2. ゴールデンウィーク中のすべての祝日において授業を実施する。
3. 東京オリンピック開催期間に重複する日程を夏季休業とする。

# 弁論大会・スピーチコンテスト

※学年は受賞時のもの

## 「第13回インドネシア語スピーチコンテスト」 [7月13日(土)]

「第13回インドネシア語スピーチコンテスト」が本学ミレニアムホールにて開催された。「日本・インドネシア間観光開発協力について」をテーマに7大学30名(社会人含む)の参加者が熱弁をふるった。本学アジア言語学科インドネシア語専攻4年の大塚梨夏さんが(カテゴリーC)が総合最優秀賞に輝いた。

コンテストの始めや休憩時間には、本学のガムラン愛好会「Merdeka (ムルデカ)」によるガムラン演奏と伝統舞踊の披露、ガムラン演奏体験ワークショップが行われ、会場は大いに盛り上がった。

- 受賞者 【後援】インドネシア共和国大使館
- 【総合最優秀賞】 【参加校】(五十音順) 大阪大学、神田外語大学、慶應義塾大学、大東文化大学、中央大学、立命館アジア太平洋大学、早稲田大学、社会人
- 【特別賞】 野口 聖樹 (中央大学 カテゴリーB)

- 【カテゴリーA(1,2年生の部)】  
最優秀賞 1位 柴田 恭佑 (立命館アジア太平洋大学)  
2位 浮田 響 (神田外語大学)  
小林 智勇 (中央大学)

- 【カテゴリーB(3,4年生の部)】  
最優秀賞 1位 藤森 優菜 (大阪大学)  
優秀賞 2位 竹井 鍊弥 (中央大学)

- 【カテゴリーC(インドネシア語圏6か月以上滞在経験者)】  
最優秀賞 1位 土井 映里奈 (神田外語大学)  
優秀賞 2位 新井 公佳 (慶應義塾大学)

- 【カテゴリーD(社会人・一般の部)】  
最優秀賞 1位 山口 博紀



## 「第36回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」 [10月20日(日)]

10月20日(日)に「第36回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」が開催され、本学の学生が優秀な成績をおさめた。

- 受賞者 **スピーチの部** 【千葉市長賞】  
迫頭 仁美 (中国語専攻4年)
- 朗読の部** 【銚子市長賞】  
櫻井 美佐希 (中国語専攻1年)



## 「中検スピーチコンテスト2019」 [10月27日(日)]

中国語検定協会主催の「中検スピーチコンテスト2019」が関西大学で行われ、本学の学生が最優秀賞と優秀賞を受賞した。

- 受賞者 **暗唱部門** 【最優秀賞】  
加藤 留美 (中国語専攻2年)
- 朗読の部** 【優秀賞】  
中川 葉 (中国語専攻2年)



## 「第13回ベトナム語スピーチコンテスト」 [11月2日(土)]

「第13回ベトナム語スピーチコンテスト」が本学ミレニアムホールにて開催された。国内の大学・高校・専門学校など計7校から20名以上の参加者が出場し、カテゴリーAでは詩の朗読、カテゴリーBからEでは「私の人生で最も貴重なこと(ひと)」をテーマにベトナム語のスピーチを競った。休憩時間には在学生による伝統舞踊や民族衣装のファッションショー、民族楽器トルンの演奏などが披露され、観覧者はコンテストの合間にベトナムの伝統文化を楽しんだ。

- 受賞者
- 【最優秀賞(スピーチ部門:カテゴリーB~E)】  
村上 海南江 (神田外語大学 カテゴリーD)
- 【最優秀賞(朗読部門:カテゴリーA)】  
國島 三四郎 (東京外国語大学)
- 【カテゴリーA(詩の朗読部門)】  
1位 上里 恵利 (大阪大学)  
2位 瀬口 優平 (神田外語学院)  
3位 江黒 美幸 (神田外語学院)
- 【カテゴリーB(2年生のスピーチ部門)】  
1位 木下 栞 (神田外語大学)  
2位 佐藤 栞 (大阪大学)  
3位 玉村 隆 (大阪大学)
- 【カテゴリーC(留学経験未経験者 3・4年生のスピーチ部門)】  
1位 加藤岡 大輝 (神田外語大学)  
2位 青木 斗夢 (大東文化大学)
- 【カテゴリーD(留学経験者 3・4年生のスピーチ部門)】  
1位 新拓也 (大阪大学)  
2位 中富 春奈 (東京外国語大学)
- 【カテゴリーE(ベトナム人の親を持つ学生の部門)】  
1位 範田 琴子 (神田外語大学)  
2位 内田 和 (大阪大学)



## 「第9回城西大学英語スピーチコンテスト」 [11月16日(土)]

「第9回城西大学英語スピーチコンテスト」が城西大学坂戸キャンパスで開催され、英米語学科1年の佐々木楓佳さんが最優秀賞を獲得した。佐々木さんは、長崎県での被爆者である祖父の体験をテーマに、原爆の恐ろしさ、悲しさ、虚しさなどを外国人にもわかりやすい内容で語り、見事頂点を輝いた。

- 受賞者 【最優秀賞】  
佐々木 楓佳 (英米語学科1年)



## 2・3年保護者対象懇談会を開催

11月9日(土)、2・3年生の保護者を対象とした懇談会が本学にて開催された。当日は天候にも恵まれ参加者は約200名にのぼり、昨年度より多くの保護者が来場した。懇談会は宮内孝久学長の挨拶から始まり、学生アンケート調査の結果報告や進路・就職に関する説明、留学を経験した学生を交えた留学制度説明が行われた。その後は各学科・専攻の先生がカリキュラムの特徴などを丁寧に解説する時間が設けられた。

説明会終了後は本学のアジア食堂「食神」にて懇親会が実施され、学長や理事長、教職員も参加した。参加者は、普段は直接話す機会が少ない職員や、各学科の先生と深く語りあうとともに、魅力的なアジアの料理を体験した。

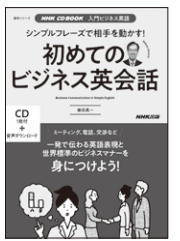


## 必読! KUIS教員執筆の一冊

### 『初めてのビジネス英会話』

柴田真一(特任教授)の著書『初めてのビジネス英会話』が10月12日(土)に発売された。同書は、「シンプルフレーズで相手を動かす」をテーマに、挨拶、会議、交渉等、ビジネスのさまざまな状況の中で言いたいことを伝えるのに最適な英語表現や話の進め方、さらには世界標準のビジネスマナーまで学べる一冊となっている。2018年度NHKラジオ「入門ビジネス英語」から34のレッスンを厳選し、一部を加筆して再構成した内容となっており、本書を読み進め、添付CDを活用すれば、「仕事で必要とされる英語力」の3つのエッセンス「聞き取り力」「表現力」「伝え方」を確実にレベルアップさせることができる。

著者:柴田真一(キャリア教育センター特任教授) 発行:NHK出版  
判型:A5判 頁数:160頁 定価:本体1,400円+税  
ISBN:978-4-14-213258-4



### 『基本スペイン語文法 改訂版』

2003年に初版を出版、今回改訂版を発行。スペイン語の新しい文法書をめざし、知覚・使役構文などは英語を使って説明し、例文の多くを英訳した。例外事項をスペイン語の歴史から説明し、フランス語、イタリア語、ポルトガル語と比較したところもある。スペイン語の最大の難関は動詞の活用であるため、英語の不規則動詞の3基本形break, broke, brokenをまねて、スペイン語でも不規則動詞4主要基本形を作った。さらに、各時制の動詞の活用における特徴を一覧表にし、習得しやすいようにまとめた。

著者:江藤一郎(神田外語大学名誉教授)  
発行:弘学社 判型:A5判 頁数:335頁  
定価:本体2,500円+税 ISBN:978-4-86638-015-5



お問い合わせ先QRコード

### 『新説 坂本龍馬』

町田明広准教授著、最新刊『新説 坂本龍馬』が株式会社集英社インターナショナルより10月7日(月)に発売された。本書は、従来の龍馬に関する数々の通説を検証し直し、過大評価された部分や気づかれていなかった龍馬の功績、行動に焦点を当て、当時の一次史料だけを基に考察した新たな龍馬像を提示する。坂本龍馬の功績を再確認する新説本。

著者:町田明広(国際コミュニケーション学科准教授、日本研究所副所長)  
発行:集英社インターナショナル 判型:新書版 頁数:272頁  
定価:本体900円+税 ISBN:978-4-797-68045-4



## 神田外語 EXTENSION 卒業生特別割引アリ

ビジネス英語力が必要な**社会人向け 平日夜間・土曜午後** コース(振替可)

対象 **本気でビジネス英語力を身につけたい社会人の方**  
★英語上級者の方に特にオススメです。

## 6ヵ月集中 ビジネス英語強化プログラム

入会金: 33,000円(消費税込) **卒業生** 入会金: **無料**  
受講料: 363,000円(消費税込) 受講料: **290,400円**(消費税込)

※2020年5月期募集より、授業料改定予定(受講料が上がりませ)

【お問い合わせ】神田外語Extension事務局  
〒101-8525 東京都千代田区神田2-13-13  
TEL:0120-655-055(10:00~18:00 ※日・祝日を除く)  
E-mail:extension@kandaigo.ac.jp URL:https://www.kandaigo.ac.jp/extension/

【無料説明会】開催中!  
詳しくは  
神田外語エクステンション

コースは2レベル

(コース) S + A  
(TOEIC) ← 800 ↔ 600 →

オンライン動画学習

(週2本×24週間)

対面授業(120分@KIFL)

(週1回×24週間)

※日本人講師(12回)と外国人講師(12回)が交互に担当

オンライン英会話

(週2回×24週間)

## British Hillsからのご案内

ご宿泊プランのご案内  
料金:おひとり様 ¥20,000~(1泊2食付・税サ込)

自然豊かなブリティッシュヒルズは季節ごとに違った表情を見せます。  
白銀の世界に包まれた中世英国の街並みの中でゆったりとしたひと時をお過ごしください。  
皆様のお越しを心よりお待ちしております。



この冬も  
ブリティッシュヒルズを  
満喫!

上記以外にも各種プランをご用意しております。詳しくはホームページをご覧ください。

ご予約・お問い合わせ ブリティッシュヒルズ TEL:0248-85-1313

ホームページ <https://www.british-hills.co.jp/>

# 2019年就職環境の変化

～従来の就職支援の効果が採用状況の変化で薄れてきている～

キャリア教育センター部長 杉本雅視

キャリア  
NOW!

日本以外の国では大卒者の採用において「総合職」というあいまいな概念の「職種」ではなく、「経理」「海外営業」「企画・マーケティング」などの具体的な業務を明示した上で募集・採用活動を行う、いわゆる「ジョブ型採用(雇用)」が一般的です。

一方、日本の大卒者の新卒採用は毎年3月に卒業する学生を「総合職」と「一般職」の「職種」で分け、4月入社の新入社員として受け入れる「新卒一括採用」という採用形態が、大企業を中心に一般的と考えられてきました。これは「ジョブ型採用」に対して「メンバーシップ型採用(雇用)」とも呼ばれます。

従来、日本の大学教育から新卒就職の流れのなかで、「新卒一括採用対策」として就職活動に向けた一連の指導、例えば「業界研究・履歴書の添削・面接対策」などが有効だと考えられ、実際に過去においては有効であったと考えています。しかしながら現在は、グローバル志向をもつ学生が一定数に達する本学の学生に対しては、以前のような効果を生まなくなっていると考えています。それには次のような理由が挙げられます。

## 「就活スケジュール」に沿って新卒一括採用を行わない企業の増加

外資系企業の日本法人では日本人学生の採用を行ってはいませんが、「就活スケジュール(就職活動の時期)」については他社と横並びの時期で行う必要がありません。3年生の時から長期インターンシップで学生を受け入れ、人物やスキルを見極め、企業内での採用予定のポジション、そして社風と合うかを判断し、採用を行っている企業が増加しています。また、外資系企業だけではなく、日本企業でもベンチャー企業・IT系企業を中心に同様の動きが広がっています。

「就活スケジュール」にトレスするような形で就職支援を行うという過去の経験が通用しないことから、本学も含め、日本国内の大学のキャリア教育センターにおいて、このような外部環境の変化に対しての対策が追いつかなくなっています。

## 「ジョブ型採用」と「メンバーシップ型採用」並列の時代

ではすぐに従来の日本型の「メンバーシップ型採用」システムがなくなるかという、そうとも言い切れません。このシステムは企業・学生・大学側にとって卒業から入社後数年のタームに限定して考えると多くの利点があります。企業にとっては一度に多くの新卒の社員を採用し、入社時教育を揃えて行えるという効率性

の他、「ジョブ型採用」では難しい、社内の人気職種とそうではない職種の人員配置のバランスを整えることも可能となります。学生にとっても卒業後すぐの失業のリスクを抑えることができ、大学にとっては大学教育で「職種(ジョブ)」に対応した専門能力を提供し、どれだけ学生が習得したかという結果が就職実績という形で問われずに学生を送り出すことも可能です。

今後も「メンバーシップ型採用」が「ジョブ型採用」に置き換わるという単純な流れではなく、徐々に「ジョブ型採用」の割合が増加しつつも、暫くは2つの採用形態が並行する流れになるのではないかと考えています。

## 「ジョブ型採用」と「メンバーシップ型採用」並列時代のキャリア教育

このような2つの採用形態が並列する時代において、大学の「キャリア教育」と「就職支援」はどのようにしていくべきかについては以下のように考えます。

### ①「キャリア教育」の授業カリキュラムの中で将来の「ジョブ型採用」に対応できる人材を育成

多くの学生が22歳で就職をし、男女ともに65～70歳まで働き続ける社会になっていくことは必然だと考えています。前述の通り、新卒の段階では「メンバーシップ型採用」は有効ですが、最初の会社で離職した後はスキルを問われる「ジョブ型採用基準」に晒されることになるでしょう。

学生への求人紹介といった「就職支援」では、「早期の離職の可能性が低い安定成長の企業を紹介する」という従来の視点に加え、「仕事を通して若い段階でスキルを習得できる企業を紹介する」という視点が求められると考えます。すなわち、学生へ勧める企業の目利きに新しい視点が加わることになります。

### ②長期インターンシッププログラムの開拓

さらに今後取り組むべき課題の一つとして、「ジョブ型採用」に向けて在学中のキャリアプログラムで対応していくということが挙げられます。その方法の一つとして「長期インターンシッププログラムの開拓」が考えられます。

本学は現在長期休業期間を利用してのインターンシップに力を入れて取り組んでおり、2019年夏季休業期間においては、3年

生の約5分の1にあたる200名が国内外のインターンシップに参加しています。うち80名を超える学生は2～3週間のアジアを中心とした海外インターンシップに参加しており、日本全体の大学生の海外インターンシップ参加者数が年間約4,000名であることを考えると、日本有数の規模となっています。

しかしながら「ジョブ型採用」を念頭においている企業の採用の前提とされているインターンシップは、恐らく3～6ヵ月程度の期間となってくるのではないかと考えます。

これからは「ジョブ型採用」を志向する企業との連携の中で、長期インターンシッププログラムを共同開発し、学生に提供していくという新しい戦略を打ち出す必要があると考えています。

### 学生へのメッセージ(在学中に取り組んでほしいこと)

大学側が対策を講じると同時に、学生が大学のプログラムを吟味して上手く利用するというのも重要になってきます。

本学の学生には(1)専攻語を含めた大学の授業科目の学習に打ち込む。(2)英語専攻以外の学生は英語の学習に取り組む。(3)休業期間に行われる留学・海外短期研修・ボランティア・インターンシップなどの活動には、参加機会を逃すことのないようアンテナを張ってチャレンジしていく、という三つに取り組んでほしいと考えています。簡単にいえば、「大学で行われる授業・プログラムを使い倒し、自分のものにしていく」ということです。

変化の時代に対応するために、あえて腰を落ち着けて学業や課外プログラムに参加することで、大学での学びを大切にしたいと考えています。

世界のあらゆるところで仕事を通じて、本学の卒業生が地域や社会をより良くしている未来を想像しています。キャリア教育センターは今後もそのようなゴールをめざしてプログラムやサービスの改善に努めてまいりますので、卒業生、保護者の皆さまも在学生への支援をお願いいたします。

## 主要内定先企業一覧(抜粋、順不同、2019年11月現在)

【製造・建設】太平電業(株) / (株)小田急ハウジング / (株)日立プラントサービス / オルガノ(株) / 河西工業(株) / (株)キッツ / 協和キリン(株) / サトーホールディングス(株) / (株)シーボン / (株)ジャムコ / THK(株) / (株)東光高岳 / 日機装(株) / 日本製粉(株) / (株)フコク / (株)フジクラ / 双葉電子工業(株) / 三菱製鋼(株) / ヤーマン(株) / (株)レナウン / (株)岡本工作機械製作所 / サンコーテック(株) / 日本精機(株) / (株)ノダ / 日東ベスト(株) / アイリスオーヤマ(株) / (株)高研 / 興国インテック(株) / (株)ディーエイチシー / (株)ドクターシーラボ / ハナマルキ(株) / プラス(株) / 共同エン지니어リング(株) / (株)ミトヨ【通信】(株)アイネス / (株)アイル / (株)インターネット / インシアティブ / (株)ウェザーニューズ / TDCソフト(株) / (株)デジタルガレージ / (株)ビジョン / 富士ソフト(株) / フリービット(株) / 楽天(株) / (株)地域新聞社 / (株)東北新社 / 日本サード・パーティ(株) / (株)NID・MI / コナミ ビジネスエキスパート(株) / (株)スリー・イー / (株)ゼウス・エンタープライズ / 全研本社(株) / 千葉テレビ放送(株) / (株)ティ・アイ・ディ / 日本アイ・ビー・エム(株) / 日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ(株) / (株)日本通信サービス / (株)日立社会情報サービス / フコク情報システム(株) / (株)富士通パブリックソリューションズ / (株)アレスク / (株)ユアソフト【商社・卸売・小売】青山商事(株) / 伊藤忠食品(株) / (株)IDOM / 国際紙パルプ商事(株) / シナネンホールディングス(株) / トラスコ中山(株) / (株)ビックカメラ / ナラサキ産業(株) / 旭化成アドバンス(株) / アシックスジャパン(株) / Apple Japan 合同会社 / 飯田通商(株) / イオンリテール(株) / 伊藤忠プラスチック(株) / (株)エービーシー商会 / (株)NAAリテリング / エノテカ(株) / コーセー化粧品販売(株) / ゴディパジャパン(株) / (株)ザ・ギンザ / 資生堂ジャパン(株) / 住商メタルワン鋼管(株) / 全日空商事(株) / 双日マシナリー(株) / 田村駒(株) / 任天堂販売(株)【運輸・物流・航空・空港】京浜急行電鉄(株) / 全日本空輸(株) (CA) / 日本通運

(株) / 日本航空(株) (CA) / 丸全昭和運輸(株) / 伊藤忠ロジスティクス(株) / エミレーツ航空(CA) / キリングループロジスティクス(株) / 空港ターミナルサービス(株) (GS) / (株)JR東日本ステーションサービス / 商船三井ロジスティクス(株) / 住商グローバル・ロジスティクス(株) / DHLグローバルフォワーディングジャパン(株) / (株)日立物流 / パンテックフォワーディング / フェデラルエクスプレスジャパン合同会社 / (株)ホンダロジスティクス / (株)マルハニチロ物流 / 郵船ロジスティクス(株)【旅行・ホテル】(株)共立メンテナンス / (株)ザ・マンハッタン / ザ・リッツ・カールトン東京 / スターツホテル開発(株) / スターバックスコーヒーパン(株) / 住友不動産ヴィラフォンテーヌ(株) / (株)東急リゾートサービス / 日本ヒルトン(株) (ヒルトン東京) / パークタワーホテル(株) / パークハイアット東京(株) / パレスホテル(株) / プリンセスホテル(株) / ペニンシュラ東京(ザ・ペニンシュラ東京) / (株)星野リゾート・マネジメント / マンダリン・オリエンタル東京(株) / (株)三井不動産ホテルマネジメント / (株)森ビルホスピタリティコーポレーション / (株)ロイヤルパークホテル / (株)エイチ・アイ・エス / イオンエンターテイメント(株) / (株)JTB / 東武トップツアーズ(株) / 日新航空サービス(株) / (株)パンダインコム / アミューズメント / (株)メキシコ観光【サービス】アクセンチュア(株) / 牛島総合法律事務所 / (株)帝国データバンク / (株)マークアイ / みなとみらい特許事務所 / (株)イーオン / (株)GABA / (株)サイエィ・インターナショナル / (株)東京個別指導学院 / (株)ベネッセスタイルケア / イオンディライト(株) / デイック(株) / ANAスカイビルサービス(株) / SGモーターズ(株) / マンパワープグループ(株)【公務員・在外公館】荒川区役所 / 東京都庁 / 日本年金機構 / 陸上自衛隊 / 千葉県教員 / 在アンゴラ日本国大使館 / 在エチオピア日本国大使館

**神田外語キャリアカレッジ**

あなたの職場に講師を派遣致します!!

【英語研修】 ビジネス英語、Eメールライティング  
ミーティング&テレカンファレンス等

【外国人社員向け日本語研修】 生活日本語&ビジネス日本語、日本のビジネスマナー等

【非言語研修】 異文化理解、グローバルチームビルディングin KUIS等

特典 ご紹介者特典あり：10,000円QUOカード進呈 ※ご契約成立時

お問合わせ 〒101-0047 東京都千代田区千代田2-13-9 神田外語本部ビル3階 神田外語キャリアカレッジ 担当 三好  
電話：03-3254-7100 / Email: kgcc@kifl.ac.jp TEL受付時間：月～金9:30～18:00

資格が取れる！教え方が学べる3ヶ月  
**児童英語講師養成講座 1月コース**

こんな方が受講されています J-SHINE(小学校英語指導者認定協議会) 認定資格取得講座

KUIS生の頃から好きだった英語、語学力を活かせる仕事をしたい！  
 子育ての経験を活かして、子どもに関わる職業に挑戦してみたい！  
 幼児・児童英語の先生になりたいけど何からはじめればよいかわからない  
 自分の好きなこと、興味関心を資格として形にしたい！

講座のオススメポイント

- 言語習得の理論と子どもの発達に応じた指導スキルを実践的に学べる授業!
- 欠席授業は振替が可能!
- 修了後に講師として活躍中の先輩多数

講座詳細や先輩受講生の声は特別サイトで公開中! ▶  
https://www.kidsclub.co.jp/training/1p/

神田外語特典 入会金 10,000円→無料  
卒業生・在学生 受講料 290,000円  
ご家族様 →246,500円 15%OFF  
※5万円相当の教材費込/記載は税込価格

2020年1月コース  
【期間】1/25(土)～3/28(土)【授業日】水・金・土  
【会場】神田外語学院 ※昼間/夜間クラスあり

無料講座相談会実施中!  
ご参加の方にはもちろん、指導用SONG CDのお試し版をプレゼント!

神田外語グループ ▼お問い合わせ・資料請求・無料相談会のご予約▼  
Instagramはじめました♪ @kandagaigo\_kidsclub  
神田外語キッズクラブ ☎0120-154-815  
〒101-0047 東京都千代田区千代田2-13-9 神田外語本部ビル4F(受付9:30～18:00/日祝除く)

**神田外語学院 (Kanda Institute of Foreign Languages)**

★神田外語いしずゑ会(本人・兄弟・姉妹)入学金返還制度あり

語学力と専門スキル、そして異文化を理解する心を持ち、世界各国で活躍できる人材を育成しています。空港や国内外のホテル、企業内英語関連部署、観光関連、児童英語教育の現場や国際ビジネスの世界で、6万人以上の卒業生が活躍しています。神田外語大学へ編入学できる唯一の専門学校です。

【2年制課程(共通科目+学科の特色あるカリキュラムで学ぶ)】  
英語専攻科、アジア/ヨーロッパ言語科(フランス語コース、スペイン語コース、中国語コース、韓国語コース、インドネシア語コース、ベトナム語コース、タイ語コース)、国際ビジネスキャリア科、児童英語教育科、国際エアライン科(キャビンアテンダントコース、グラウンドスタッフコース)、国際観光科、国際ホテル科

【2年制課程(学科独自のカリキュラムで学ぶ)】  
グローバルコミュニケーション科、留学科(海外大学3年次編入コース、コミュニケーション科)

【1年制課程(1年間で基礎力を身につける)】  
英語基礎養成科

お問い合わせ 入試センター ☎0120-815-864(フリーダイヤル) TEL: 03-3258-5838

# アジア インターンシップ

本学では、国内外の企業インターンシップを通して、実際に働くイメージをつかむとともに、社会人に必要な知識やスキルを学ぶインターンシッププログラムに力を入れており、多くの学生を国内だけでなくアジア、中南米の国や地域に送り出している。

今回はアジアインターンシップに参加した学生が、インターンシップを通して経験したことやそこで得た学びを紹介する。



## 木下 菜さん

(アジア言語学科ベトナム語専攻2年)  
インターンシップ先:ベトナム ハノイ  
業種:賃貸住宅保証事業

ベトナムで働きたいという夢を叶えるための第一歩として、インターンシップに参加しました。ベトナム人のはっきりものを言う性格にくじけそうになることもありましたが、ベトナム特有のゆったりとした職場環境にとても魅力を感じました。私は、履歴書の添削、日本語学校の補助、営業の付き添いなどを担当しました。難しい専門用語ばかりで辞書が手放さず苦勞することも多くありましたが、いろいろな業務を通して、自分に足りないものや、日本との違いを見つけることができました。

## 鈴木 龍平さん

(英米語学科3年)  
インターンシップ先:ベトナム ハノイ  
業種:人材紹介

ハノイにある人材紹介会社で3週間のインターンシップを経て、異文化の中で働くことを経験しました。まず感じたのは、基本的なコミュニケーションを取るには共通語である英語が重要で、「伝わる英語」を意識する必要があるということです。また、自分は相手からすれば外国人であるため、「日本人」というステレオタイプで判断する人もいられるかもしれません。ベトナムの方はとても好意的でしたが、海外で働けばそういうこともあると改めて考えさせられたインターンシップでした。



## 永田 ちひろさん

(アジア言語学科タイ語専攻3年)  
インターンシップ先:タイ バンコク  
業種:旅行

海外で働くイメージをつかむために、タイでのインターンシップに参加しました。日本の企業から依頼を受けて旅行のプランを提案するツアーオペレーターの業務を行う会社で、実際にツアーのプランを組んだり、ホテル見学などを行いました。今でも忘れられないのは「遊びも仕事のうち」という言葉です。自分が体験して実感したことだけでは提案はできない。遊ぶこと(楽しむこと)も仕事のうちだと教えていただきました。私もそのように柔軟な発想がもてる社会人になりたいです。



## 西野 あすかさん

(アジア言語学科タイ語専攻3年)  
インターンシップ先:タイ バンコク  
業種:総合機械メーカー

タイの総合機械メーカーで2週間お世話になり、自身の克服すべき点を明確にすることができました。タイ語能力の未熟さや自主性、主体性の低さを痛感しましたが、タイのオフィスの雰囲気やタイ人の親切心にふれ、この国で働きたいという気持ちが強くなりました。インターンシップを通して、曖昧だった将来の進路が今まで以上に明確になったように感じます。海外でのインターンシップの経験は自分の将来に必ず良い影響を与えてくれると思います。

## 田原 郷太郎さん

(イペロアメリカ言語学科スペイン語専攻3年)  
インターンシップ先:ベトナム ホーチミン  
業種:IT

海外インターンシップを通して異文化との交流ができたことが一番の成果であると思います。私はこれまで海外に一度も行ったことがなかったので、海外の人の考え方や、日本人ならではの考え方、行動など、日本にはわからないことを身で体験することができました。また、IT会社の仕事を体験し、パソコンの技術や仕事の進め方などさまざまなことを吸収することができました。このインターンシップは私の人生にとってかけがえのない体験となりました。



## 吉田 満帆さん

(アジア言語学科中国語専攻3年)  
インターンシップ先:台湾 台北  
業種:広告

大学で学んできた中国語を仕事に活かしてどのようなことができるか試したいと思い、インターンシップに参加しました。ホームページの企画運営を行う企業で、中国語での取材や記事の原稿作成、ホームページのシステム作りなどを行いました。取材で現地の方と交流する際、異文化理解や国際関係を理解し、正しい情報を正確に聞き出すスキルが必要だということ学びました。インターンシップを通して中国語+αのスキルを身につけるという課題を見つけることができました。



## 太田 怜奈さん

(アジア言語学科インドネシア語専攻3年)  
インターンシップ先:インドネシア ジャカルタ  
業種:不動産

インターンシップ先では不動産の仕事に携わりました。任された仕事はホームページ上のアパート情報やお役立ち情報の更新などで、直接お客さまに接する仕事ではありませんでしたが、常に相手の目線に立って考えることを意識しました。また、日本語・英語・専攻語であるインドネシア語の3言語を使うことができ、今の自分の能力を測るとても良い機会になりました。インドネシア人のフレンドリーな性格のおかげで公私共に充実した時間を過ごすことができました。



## 田村 奈々さん

(アジア言語学科中国語専攻3年)  
インターンシップ先:台湾 台北  
業種:広告

お世話になった会社では、取材を通して現地の方と関わる機会をたくさんいただきました。社会では幅広い知識と高い能力が求められるということを実感し、語学に加えてさまざまな分野のことを吸収していこうとモチベーションの向上に繋がりました。就職活動を控えるなかで、海外での生活を体験しながら自己分析を行うことができたことも大きな収穫となりました。インターンシップ中は大変なこともありましたが、普段経験することのできない貴重な経験をし、本当に参加して良かったと感じています。

## 矢部 麻衣さん

(国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻3年)  
インターンシップ先:マレーシア クアラルンプール  
業種:旅行

「自分を変えたい」、そんな思いからこのインターンシップに参加しました。当初は、同じ英語でも発音や言い回しの異なる表現に戸惑いましたが、現地で働くにつれて徐々に慣れ、一つの言語にも多様性があることを感じました。また、実際に業務を経験し、海外で働くとはどういうことなのかという問いに対する答えを見つけることができましたように思います。自分の長所・短所と向き合い、今まで気付くことのできなかった新しい一面を発見することができました。



## お問い合わせ一覧 各部署へ直接お問い合わせください。

### ■受付時間

平日 9時00分～11時10分  
12時10分～17時15分  
土曜日 9時00分～11時30分

※12月21日(土)から1月3日(金)は、冬季休業期間とさせていただきます。

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
科目履修、成績	教務課	043-273-1320
留学	国際交流課	043-273-1615
学生生活や奨学金、各種証明書	学生課	043-273-2948
就職、進路	キャリア教育センター	043-273-1598

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
学生相談、カウンセリング	メディカルセンター	043-273-1495
授業料の納入	総務部	043-273-1322
図書館の利用	図書館	043-273-1192
入試、イベント	広報部	043-273-2826